

# 3Q 連結業績実績 - 前年同期比較



連結売上：医療用HALと介護支援用 HAL等の導入台数増加により166百万円増加（前期比19%増）

経常損益：CB転換による一時費用（96M）を除くと、前年同期比で21M改善

【2017年3月度 第3四半期：連結損益計算書】

単位：百万円

項目	FY2016			FY2016 【3Q累計】	FY2015 【3Q累計】	増減額 (前期比)	コメント
	Q1	Q2	Q3				
売上高	272	329	454	1,055	890	166	医療用HAL：公的保険診療によるレンタル増加 介護支援用HAL：厚労省補助金による導入増加
売上原価	91	124	152	367	285	81	
売上総利益	181	205	302	689	604	84	
研究開発費	232	196	226	655	587	68	JST革新的サイバニクスPJの加速による費用の前倒し
その他販管費	307	345	343	996	879	116	租税公課の増加+55M 消耗品費の増加(主に福島生産拠点) +27M
営業利益	-358	-336	-267	-962	-862	-100	
営業外収益	144	890	117	1,151	389	762	研究開発の受託収入・助成金の増加 +96 固定資産補助金の増加(主に福島生産拠点) +669
営業外費用	109	741	-3	847	109	738	CB転換による株式交付費用 96（一時費用）、支払利息 -27 固定資産圧縮損の増加(主に福島生産拠点) +669
経常利益	-323	-187	-147	-658	-582	-75	
当期純利益	-325	-190	-148	-663	-583	-80	

増益要因：売上増加による売上総利益増加(+84M)、研究開発受託収入等(+96)、支払利息減少(-27M)

減益要因：CB転換による一時費用（96M）、研究開発費（+68M）、租税公課等販管費（+116M）

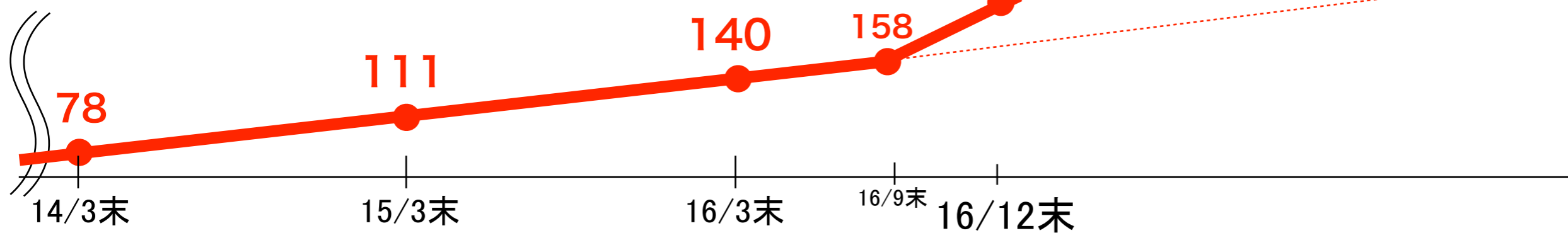
※ 福島生産拠点等の固定資産に関連する営業外収益(補助金収入)と営業外損失(固定資産圧縮損)は損益インパクトなし

# 製品別稼働台数（医療用下肢タイプ）

## 下期以降、公的な医療保険診療向け出荷が大幅増加

日本：脳卒中等への適応拡大  
米国：FDA承認  
ドイツ：公的医療保険適用

9-12月国内レンタル：33台



神経・筋難病  
公的医療保険診療  
(日本)

2014年以前  
医療機器認証 (EU)  
公的労災保険適用 (ドイツ)  
神経・筋難病治験 (日本)

2015/3  
神経・筋難病  
薬事申請  
(日本)

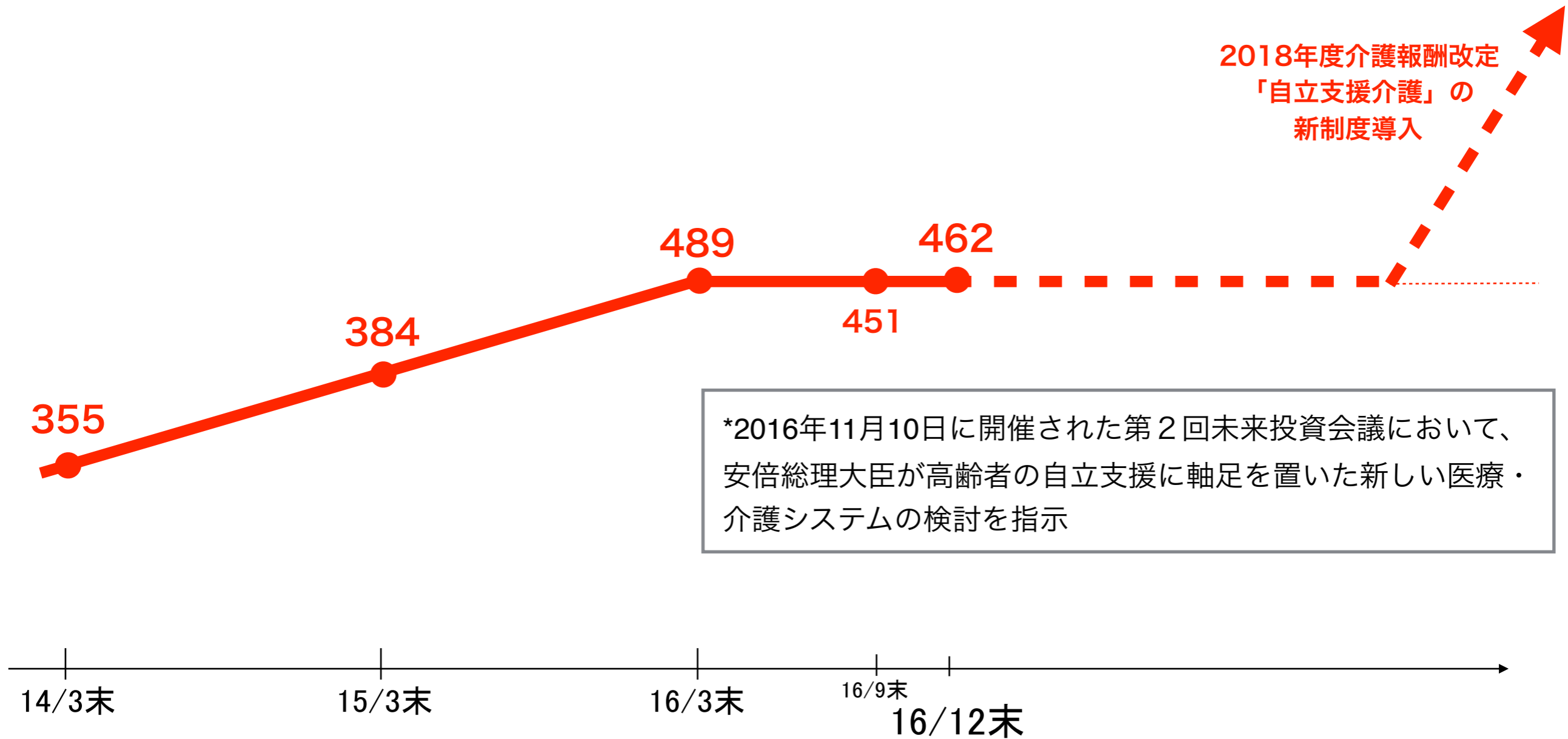
2015/11  
神経・筋難病  
薬事承認  
(日本)

2016/9/2  
世界初の公的な  
医療保険診療  
第1号スタート  
2 (日本)

2016/9  
脳卒中  
治験開始  
(単脚モデル)

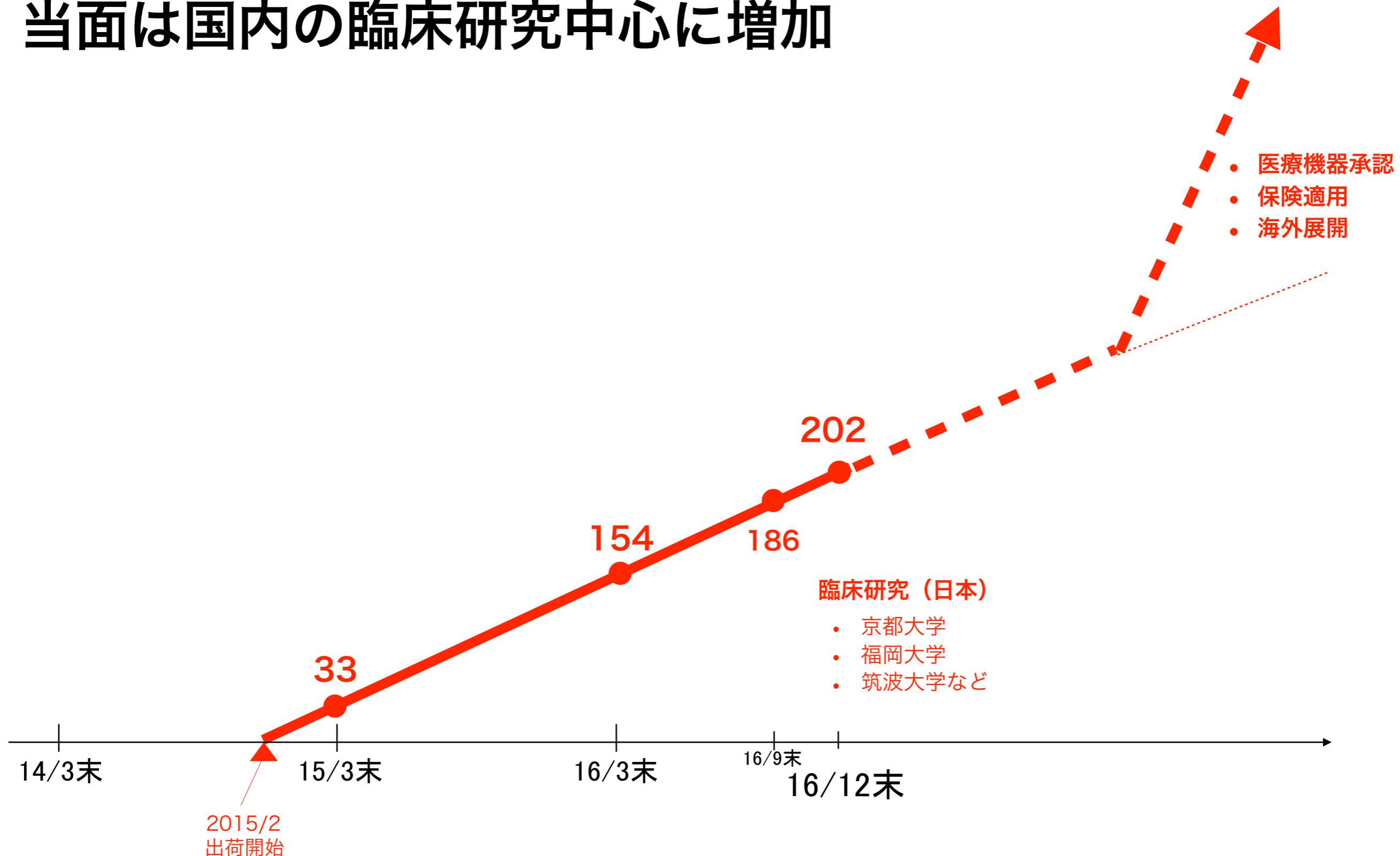
# 製品別稼働台数（福祉用等下肢タイプ）

## 2018年度介護報酬改定（「自立支援介護」の新制度導入\*）に伴う増加を見込む



# 製品別稼働台数（単関節タイプ）

## 当面は国内の臨床研究センターに増加



# 製品別稼働台数（腰タイプ）

## 下期は、介護支援用が大幅増加

